

# べっぷ 市議会だより



No.161  
2022.8.1

目の前の課題に1つ1つ着実に取り組み市民が幸せを実感するまちづくり



## CONTENTS

- P2 主な議案の概要
- P3 議決結果
- P4 議案質疑
- P5~11 常任委員会審査・一般質問(16名が市政を問う) ほか
- P12 永年勤続市政振興功労者表彰・編集後記 ほか



# 令和4年第2回定例会で22の議案を可決!

6月3日から6月17日までの15日間にわたり開催された今定例会では、予算関係1件、条例関係4件、その他8件の議案が上程されました。

また、最終日には市長より追加議案として、人事案件4件、さらに議会より、議員提出議案5件、議員派遣1件が上程されました。

市長提案理由では、原油価格高騰対策として、バス事業を対象とした本市独自の補助金の説明に加え、「つなく棚田遺産」の認定を受けたことに伴い、棚田地域を

活性化するための経費の計上等について説明があり、「物価高騰対策子育て世帯緊急支援に要する経費」「予防接種に要する経費」等の関連議案については、議案質疑で活発な議論が行われました。

採決においては、2件の議案について一部議員から反対する旨の意思表示があり、そのうち議員提出議案1件が否決されました。その他の議案については、すべて原案のとおり可決等すべきものと決定しました。

## ～主な議案の概要～

### ●一般会計補正予算(第3号)6月定例会

※表中の金額は、1万円未満の額を切り捨てて表示しています

#### 新型コロナウイルス感染拡大防止に要する経費・・・・・・・・・・ 2億3,056万円

新型コロナウイルスの感染拡大を防止し、市民の安心安全を確保するため、別府市PCRセンターの開設期間を9月末まで延長します。

#### 新型コロナウイルスワクチン接種に要する経費・・・・・・・・・・ 4億2,627万円

「60歳以上及び基礎疾患保有者」に対する新型コロナウイルスワクチンの4回目接種を実施します。

#### コミュニティバス運行事業に要する経費・・・・・・・・・・ 746万円

路線バス内成棚田線が8月末をもって廃止されることに伴い、地域の移動手段を確保します。

#### 物価高騰対策プレミアム商品券発行に要する経費・・・・・・・・・・ 3億6,815万円

物価高騰の影響を受けている市民及び事業者を支援するため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、プレミアム商品券を発行します。

#### 物価高騰対策子育て世帯緊急支援に要する経費・・・・・・・・・・ 2億773万円

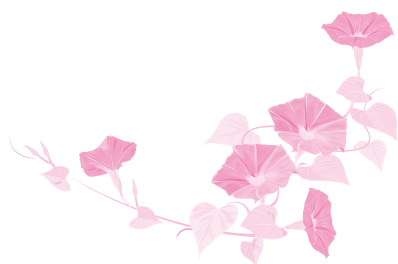
物価高騰の影響を受けている市民を支援するため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、子育て世帯に対象児童1人当たり1万円のクーポン券を支給します。

#### 予防接種に要する経費・・・・・・・・・・ 3,962万円

子宮頸がんを予防するHPVワクチンの積極的勧奨の再開、キャッチアップ接種を開始します。

積極的勧奨の差控え中、HPVワクチン接種を自費で受けた者に対し、接種費用額を支給します。

小児がん患者が造血幹細胞移植等により、小児期に接種したワクチンの免疫が低下又は消失した場合、20歳未満の者の再予防接種費用を助成します。



## 第2回定例会における議案等の審議結果など

議案等番号	件名	議決結果
議第42号	令和4年度別府市一般会計補正予算(第3号)	原案可決 (全会一致)
議第43号	別府市税条例等の一部改正について	
議第44号	別府市教育委員会の委員の定数に関する条例の制定について	
議第45号	別府市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	
議第46号	別府市特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	
議第47号	製造請負契約の締結について	
議第48号	動産の取得について	
議第49号	和解について	
議第50号	市長専決処分について	
議第51号	市長専決処分について	
議第52号	市長専決処分について	
議第53号	市長専決処分について	

議案等番号	件名	議決結果
議第54号	市長専決処分について	承認 (全会一致)
議第55号	別府市教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	同意 (全会一致)
議第56号	別府市教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	
議第57号	別府市監査委員の選任につき議会の同意を求めることについて	
議第58号	別府市監査委員の選任につき議会の同意を求めることについて	原案可決 (全会一致)
議員提出議案第4号	別府市議会会議規則の一部改正について	
議員提出議案第5号	国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書	
議員提出議案第6号	環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた学校施設のZEB化のさらなる推進を求める意見書	
議員提出議案第7号	義務教育費国庫負担制度堅持・教育予算拡充を求める意見書	
議員提出議案第8号	国立病院はじめ医療施設の機能強化を求める意見書	
	議員派遣	
		原案可決 (全会一致)

## 賛否の分かれた議案等賛否一覧表

議案番号	件名	議決結果	会派・議員名																					
			自民党議員団 10人										公明党 4人		自民新政会 3人		市民クラブ 3人		日本共産党議員団 2人		革 新 財 政 改 正 1人			
			首藤正	野口哲	松川生	黒木愛	松川章	安部一	手束貴	阿部真	日名子敦	梶田貢	堀本博	市原隆	荒金卓	穴井宏	山本一	森野大	小野正	加藤信	森山義	三重忠	平野文	美馬活
議員提出議案第5号	国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書	可決(多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第8号	国立病院はじめ医療施設の機能強化を求める意見書	否決(少数)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○

議案賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「-」、欠席者は「欠」、議長は「/」(採決に加わらない為)、法律により採決に加われない議案は「除」



可決された意見書を  
HPにて、掲載しています。

### information

#### 令和4年第3回 市議会定例会会期日程(予定)

9月

- 1日 議案上程
- 6日 議案質疑・委員会付託
- 7日 常任委員会審査
- 9日・13日～15日 予算決算特別委員会
- 20～22日 一般質問
- 26日 一般質問(予備日)
- 28日 委員長報告、討論、表決

※日程は変更することがあります。

#### 議会改革推進研究会

6月17日、次の役員構成で設置されました。

【所管事項】 改選前の令和4年度内の積み残しとなっていた懸案事項の整理に向けて、任意の会を設置して協議を進めようとするものです。

【役員名】 ◎加藤 信康 ○安部 一郎  
日名子敦子 阿部 真一 小野 正明  
荒金 卓雄 平野 文活  
(◎会長 ○副会長、議席順)

# 議案質疑

今定例会の議案質疑では、執行部が提出した令和4年度各会計補正予算や条例などの議案に対し、5名の議員が質疑を行いました。そのうち主な質疑内容を掲載します。

## コミュニティバス運行事業について

**問** 路線バス内成棚田線について、コミュニティバスを運行するに至った経緯と、運行しようとしている内容は。

**答** 運行に至った経緯は、事業者からの車両の老朽化や収支悪化などを理由に、廃止の申し出があり、市としては、存続に向け協議してきましたが、本年4月11日に公示があり、8月末をもって廃止することとなりました。この路線は、周辺住民の貴重な公共の移動手段であり、廃止後の交通空白地域となることを避けるため、緊急的な代替措置として、コミュニティバスを運行することとしました。運行については、平日のみ3便とし、現行の路線に河内から湯都ピア浜脇までの経路を追加し、乗車定員9人のワゴン車で運行することとしています。

## 子宮頸がんワクチン接種について

**問** 子宮頸がんHPVワクチンの接種機会を逃した方たちにどのようにお知らせをしていくのか。

**答** 接種機会を逃した方たちに対して、キャッチアップ接種を行うこととなりました。キャッチアップ接種及び接種費用が償還される対象者は、平成9年4月2日～平成18年4月1日生まれで、別府市の公費で3回のHPVワクチン接種を終了していない方です。対象の方には、償還払いに関する内容も含めたキャッチアップ接種のご案内を個別に郵送するとともに、ホームページでもお知らせいたします。

**問** 子宮頸がんHPVワクチンの副作用を心配されている方も多いが、メリット・デメリットをどのようにお知らせしていくのか。

**答** 接種のご案内の文書に、メリット・デメリットを記載したリーフレットを同封するほか、別府市ホームページに、厚生労働省のホームページのリンクを貼るなど、HPVワクチンについてご理解いただけるようご案内します。HPVワクチンの感染予防効果については国から示されていますが、ワクチンの有効性とリスクについて十分理解した上で接種していただくよう、個別通知も含め、周知していきたいと考えています。

## 保育所入所に要する経費の追加額について

**問** コロナ禍における物価高騰対策として、保育所等の給食の食材費に対する補助金であると伺っているが、内容は。

**答** 物価高騰の影響は、保育所等における給食の食材費にも及んでおります。この補助金は、保護者の負担を増やさず、子どもの成長に必要な栄養バランスや量を保った給食を提供できるよう施設を支援するものです。補助事業の内容については、私立の認可保育所、認定こども園、私立幼稚園、認可外保育所などで、材料費高騰相当額の上限を500円と設定し、保育所等の利用人数3,240人に対し、本年7月から来年の3月までの期間、補助します。なお、具体的な補助金額の算出方法や支給方法などは、今後、県の補助要綱等を参考に設定してまいります。



# 常任委員会審査

会議での提案者の説明及び質疑が終了した後、さらに詳しく検討するため、常任委員会等に議案審査を付託しています。

各委員会に付託された全ての議案について、賛成多数で原案のとおり可決(承認)すべきものと決定しました。

## ● 総務企画消防委員会

路線バス内成棚田線が8月末で廃止されることに伴い、コミュニティバスを運行する事業について、委員から、緊急措置として実証運行する期間に関する質疑があり、当局から、コミュニティバスの運行と並行し、地域住民とは今後の運行形態について協議する予定であることから、本事業はその結論に至るまでの暫定的なものである旨の答弁がありました。

## ● 観光建設水道委員会

物価高騰の影響を受けている市民を支援するため、プレミアム商品券を発行する事業について、委員から販売場所や他市で起きた大量購入問題の対策に関する質疑があり、当局から販売場所は人員確保と経費の関係で、市役所と商工会議所を予定しており、予約システムの活用と本人確認により、購入上限のチェックを行う予定である旨の答弁がありました。

## ● 厚生環境教育委員会

「議第42号 令和4年度別府市一般会計補正予算(第3号)」子育て支援課関係部分では、物価高騰の影響を受けている市民を支援するため、1万6,500人の対象児童に対し、1人当たり1万円のクーポン券を支給するため、2億773万5千円を計上しているとの説明があり、委員からのクーポン券の利用方法に関する質疑に対し、当局から、産業政策課で予算計上しているプレミアム商品券と同様であるとの答弁がありました。



# 一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。6月議会では16名の議員が市当局の見解をたどしました。主な内容は次のとおりです。

スマートフォン等で各議員のQRコードを読み取ることで、一般質問の録画中継にアクセスができます。

自民新国会

もり  
森

だいすけ  
大輔 議員



## 「人口減少と少子高齢化」について

**問** 国や地方自治体そして全ての国民が直面している最大の行政課題は、人口減少や少子高齢化に伴う労働生産力の低下や地域経済の縮小による市民所得や市税収入の減少である。この課題を解決するために別府市では、2016年～2022年の7年間で約556億円の予算が地方創生事業に充てられてきました。別府市が目指す地方創生の最終目標は。

**答** 市民所得、税収、人口の増加へつなげていく好循環を生み出し、市民が生涯を通じ、健康で幸せに暮らすことができるまちの創造を実現することです。

**問** これまで別府市が進めてきた地方創生の成果や効果を市民の方々は実感できているのか疑問に思う。今後さらに、人口減少に歯止めをかけて地域経済を元気にする取り組みを進めなければならない中で、心配なのが財源確保の問題である。新たな自主財源の確保として入湯税増税が2019年に始まり4年目になるが、これまで行ってきた観光戦略事業の成果や効果が問われている。観光戦略事業の本来の目的は、観光産業が儲かればいいという単純な話ではなく、観光産業を盛り上げることにより、観光で稼いだお金を市民福祉の発展や公共サービスの向上につなげ、最終的に別府を観光の街から全ての市民が豊かに健やかに幸せに暮らせる福祉のまちへ発展させることが本来の目的だが、市の見解は。

**答** 観光客や交流人口を増やし、雇用を創出します。雇用の創出は地域経済を活性化し、市民所得

が向上します。これが市税収入の増加につながりその財源をもとに市民福祉の向上を図ってまいります。

自民党議員団

くろ き あい いち ろう

黒木愛一郎 議員



## 「地域コミュニティ」について

**問**▶ 自治会等の現状を見据え、別府市が先見の明で取り組んでいる、中学校区を範囲とする中規模多機能自治は、地域でどのように機能すると考えるか。

**答**▶ 自治運営の基盤を拡大することにより、圏域内の多様な団体が、それぞれの強みを補完し合い新たな地域コミュニティを形成することにより、地域の特性をいかした活動の創出や、担い手不足などの課題に取り組み、自治機能を維持していくものです。

**問**▶ 新たな地域コミュニティとなる「ひとまもり・まちまもり協議会」の役割とは。

**答**▶ 行政と連携する対等なパートナーとして、地域の核となり、主体的に地域を運営する役割を担っていくものだと考えます。

**問**▶ 中規模多機能自治は、国の地域再生計画の認定を受けたが、今後、どのようなことを行っていくのか。

**答**▶ 今年度は、「ひとまもり・まちまもり協議会」の重点事業として、人材育成や共生社会を支える高齢者のデジタル支援事業などに取り組みます。

また、地域再生計画の先導的な取組を通じて、行政だけではできない、地域だけではできない、地域課題の解決を図りながら、それぞれの地域が持つ魅力や特性を市全体の魅力として、持続可能な地域づくりにつなげてまいりたいと考えています。

自民党議員団

ひ な ご あつ こ

日名子敦子 議員



## 「楠銀天街」について

**問**▶ 楠銀天街のアーケードについては、度々落下

物があり危険で、解体に向けて進めてもらいたいと考えている。地元の関係者に対して意見交換会やアンケートなどを行っているが、その状況は。

**答**▶ アーケードの所有者がくすぎん通り会であるため、原則的には市での対応は難しい面があります。今後、取り組みを進めていくためにも、地元で新しい組織づくりをお願いしましたが、アンケートでは組織作りに対する具体的なご意見をいただけていない状況です。

**問**▶ アーケードの腐食が激しく、有事の際には避難経路確保も困難と考えられる。地元の方々の認識にもばらつきがあるため、今後も意見交換会等を開催しながら進めてもらいたい。

**答**▶ 楠銀天街は地域の課題の一つであり、現在、南部ひとまもり・まちまもり協議会とともに取り組んでいくことを協議会に相談させていただいているところです。市としては、解決に向けて進めていきたいと考えていますが、まずは、地元の皆さんが、積極的に取り組んでいただくことが前提です。

**問**▶ 夜間、非常に暗く、危険であり、防犯上問題がある。防犯灯の設置はできないか。

**答**▶ 交差点部分を照らすようにしたところです。今後の対応についても検討していきたいと考えています。

公明党

あらかね

荒金

たくお

卓雄 議員



## 「新図書館整備事業計画」について

**問**▶ 新図書館の開館までのスケジュールは。

**答**▶ 令和4年度に、基本設計・実施設計と管理運営計画を策定予定です。令和5年度に、入札・契約を行い、5年度後半に建設工事着工の見込みです。令和7年度に竣工、その後移転作業などの開設準備期間を経て、7年度末に開館の予定です。

**問**▶ 東京都台東区立図書館を視察した。自動貸出・返却ができるICタグシステムを導入し、利用者の利便性が著しく向上している。新図書館は、同システム導入を検討しているか。

**答**▶ 同システムを利用することは、利用者の利便性向上や図書館業務の効率化を図れるメリットがあ

り、過去10年間で新設された全国の図書館の約7割が導入しています。今後の活用方法等、長期的視点も入れながら導入の方向で検討を進めていきたいと考えています。

**問** 新図書館では、郷土資料のデジタルアーカイブに取り組む予定はあるか。

**答** 地域資料を記録し、保存するデジタルアーカイブ化は、将来へ向け貴重な資料を守るために必要であると認識しております。現図書館所管課をはじめ、関係部門と連携して検討を進めます。



## 「ヤングケアラー」について

**問** 実態調査では、別府市内に支援の必要なヤングケアラーが約100人いると推察されている。発見しやすい学校現場での把握や対応が重要であるが、大分県や別府市ではどのような対策を講じているのか。

**答** 大分県では、ヤングケアラーの社会的認知度向上のため、周知啓発として、全児童・生徒に相談先カード、リーフレットの配布、教員向けの研修や市町村単位での合同研修等を行うとともに、適切な支援につなげられるよう、ヤングケアラー専門の相談窓口の設置、スクールソーシャルワーカー及びスクールカウンセラーの配置強化、既存制度を活用した支援策へのつなぎ、家庭養育ヘルパー派遣事業を行うヤングケアラー等支援体制強化事業を開始しています。

別府市では、子ども家庭総合支援拠点を相談窓口として位置付け、学校現場や福祉事業者等また大分県が設置した相談窓口からの情報提供を受け、教育部門と児童福祉部門及び家庭環境に応じた支援機関との連携を図り、令和3年度から開始しました見守り強化事業により、食事の提供や学習生活指導等を行いながら対象となる子どもと家庭の状況把握を行い、必要な支援や措置につなげているところです。また、今年度からヘルパーが家庭へ向き、家事育児支援を行う養育支援訪問事業によるヘルパー派遣事業を開始いたしました。この事業を活用しながら、ヤングケアラーの負担軽減を図

るとともに、ヤングケアラー本人やその家族に寄り添った支援を行い、今後の事業の展開によっては、必要な予算を講じていきたいと考えています。

支援が必要な子どもと家庭に対し実態とニーズに即した支援を確実にを行うため、別府市独自の实態調査も必要だと考えていますので、教育部と協力し調査方法等を検討したいと考えています。



## 「別府温泉の涵養域保全」について

**問** 本市の温泉の現状は以前と比べどうか。

**答** 昨年大分県が発表した「別府市温泉資源量調査」の中で、現状は「温泉の温度低下や堀削深度の増加、噴気・沸騰泉の減少が確認されている」と報告されています。

**問** 本市の温泉の基となる地下水涵養域を把握しているか。

**答** 「別府市温泉資源量調査に基づく流動経路図」からみると、鶴見山、伽藍岳あたりから下流部が該当すると推測されます。

**問** まさに本市の温泉の源は、鶴見岳から伽藍岳に至る山岳地帯、そして鍋山の一帯の草原部分である。森林の持つ保水能力は浸透能で表され、裸地では降水が1時間に79mm、草地で128mm、森林では258mm浸透し、森林は裸地の3.3倍のスピードで浸透している。このことから地域全体を水源涵養林として保護したらどうか。

**答** 森林土壌は透水性や保水性に優れており地下水を作りやすく、森林は水源の涵養域に大きな役割を担っています。

**問** 市も森林の重要性を理解しているようである。温泉の供給源である地域を県の保安林に指定してもらうか、本市独自に保護林として水源涵養林にすることは出来ないか。

**答** 森林整備については、別府市森林整備計画等に基づいて市有林の整備を毎年行っています。

自民党議員団

しめ とう  
首藤

ただし  
正 議員



## 「市長の政治姿勢」について

**問**▶ 地域では、5月までに自治会総会や諸団体の総会が終了し、これらの会で2期8年目を迎えた長野市長の話題が多く出た。コロナ対策、経済、観光、教育など別府発展に大きく貢献してきている市長に今日までの自己評価と今後の課題等について語っていただきたいとの意見が多く出た。この市民の声に対して市長の見解は。

**答**▶ 7年間で振り返ってみますと、私の公約を総合戦略や計画に反映させ、施策を進めてまいりましたが、私のみでなく、当然職員や市民の皆さんによく理解をいただき、大きな前進が出来たことであり、これは市民全体の勝利だと思います。先輩の市長方に、自分の実施したいことは何年ぐらいで出来ますかと就任時に尋ねると10年という言葉がいただきました。自分ではもっと早くできるだろうと正直思いましたが、やはり10年が1つの区切りかと思っています。私の公約でいいますと45項目ありまして、そのほとんどが実施済み、若しくは進行中ですが、まだまだ形が目に見えないものなど課題や問題があります。今、そのことにしっかりと向き合い、できることを職員と共に日々努力しながら約束が実現出来ますよう、一步一步進み実現したいと思っています。

自民党議員団

の ぐち つ お  
野 哲男 議員



## 「いじめ防止問題と道德問題」について

**問**▶ 別府市の令和2年度の小中学校のいじめ件数は。

**答**▶ どんな些細ないじめも見逃さないという積極的な認知によって、小学校1,258件中学校96件ですが、解消率は小学校99.8%、中学校94.8%となっています。

**問**▶ 教育に関する報告書で、いじめの重大化が危惧されるとあるが、今後の対策は。

**答**▶ 早期発見・早期対応に努め、各校に設置しているいじめ対策委員会で組織的に対応しています。また、良好な人間関係を構築するための取り組みも行っています。

**問**▶ 最近はネットいじめ等も増加傾向にあり、その防止策は道德教育にあると考える。戦前戦後の道德教育を検証すると教育勅語問題がある。勅語は、国会決議で廃止されたのではなく、単に道德訓となり「勅語はあまねく人類に普遍的な美しい道德的思想に光を放っている」と位置づけ、現下の日本の社会情勢を鑑みるに、美德とされてきた安全神話が崩壊し、殺人、虐待、詐欺、各種差別、子供の貧困等美風は失われ、道德の欠如が心配される。この様な時代こそ勅語の普遍的人論である親には考養を尽す、兄弟姉妹は仲よく、夫婦はいつも仲睦まじく、友達は互いに信じて付き合い広く全ての人に愛の手を差し伸べ、知識を養い才能を伸ばし人格の向上に努め、法律や規則を守る等々、まさに失われつつある社会規範の立て直しを行うための必要不可欠な道德の実践であると考えがどうか。

**答**▶ 道德教育については命や自然を大事にする心や善悪判断の規範意識等道德性を育てること、子どもに心ある教育ができるよう努めてまいります。

行財政改革クラブ

いずみ たけ ひろ  
泉 武弘 議員



## 「どうする親亡き後問題と高齢者問題」について

**問**▶ 障がいのある人とその家族が強い不安をもっている親亡き後問題に対する考えを聞きたい。

**答**▶ 親亡き等の問題解決検討委員会により提出された10の具体的施策があり、その全てを実施しています。今後も施策内容の継続と向上に努めます。

**問**▶ 障がい者と保護者の高齢化の問題は言葉で解決しない。市が土地を提供し、建設資金など補助金を斡旋するなどしなければ、前に進まないと思うがどうか。

**答**▶ 現在、障がいのある方のための民間施設が充実していますが、困りごとがあれば、状況分析をして



手当を講じます。

**問** ともに生きる条例ができて9年になる。公共、民間施設ともに段差などが解消できていないがどのように考えているか。

**答** 設計者や事業者には、研修会などを開催し、合理的配慮の具体例等を説明し理解を求めています。今後も、障がいのある人にとって、必要とされる住居の整備に努めていただけるよう働きかけを行います。

**問** 民間住宅の施設改善に補助金や貸付金制度を設け社会全体で住みやすい社会をつくるべきではないか。

**答** 国の既存集合住宅のバリアフリー改修工事補助金、市の個人宅のバリアフリー助成制度のほか、民間の融資等があります。

**問** 2025年に団塊の世代が後期高齢者になり認知症、寝たきり、孤立、孤独死などが大幅に増える。この機会に自治会活動を支え高齢者の健康づくりや安否確認をするために活動助成金を交付してはどうか。

**答** 各地域が開催している介護予防や体操教室は、身体的のみならず精神的にも本当に大きな効果があると考えます。自治会やひとまもり・まちまもり協議会の活動と協働し、防災面も含め、より充実してまいります。

#### 市民クラブ

もり やま よし はる  
森山 義治 議員



### 「公共施設の改築と改修」について

**問** 南立石幼稚園は木造部分が築69年経過し、屋根の塗装やトイレの排水管等、全体的に老朽化しており、耐震は昭和56年以前の基準である。改築の優先順位を格上げしていただききたいが如何か。

**答** 建築物の耐震改修の促進に関する法律や、文部科学省の耐震化推進計画により、新耐震基準から除外されていますが、年に一度維持管理点検を実施しており今年度必要な改修工事を行います。

**問** 明礬グラウンド横の公衆トイレは水洗ではなく汲み取り式であり、男子用はコンクリートで作られた簡素なトイレです。また、手洗い用の設

備もなく、特に部活動で訪れる児童たちが不便であるため全面改修をしていただきたい。

**答** 現在、市内公園の洋式化やバリアフリーに順次取り組んでいるのが現状です。このように古いトイレについては前向きに検討したいと考えています。

**問** 法律に基づく地域公共交通計画案が策定されていますが、今後は地方自治体を中心となって各関係者と連携し、地域の移動手手段の維持確保が重要となってきます。乗り物教育として、小学校の社会科授業に取り入れていただきたいと考えるが、ご見解は。

**答** 市民の公共交通利用率を成果目標としている中であり、先進地の取り組みを参考にしていきます。

#### 自民党議員団

あべ いちろう  
安部 一郎 議員



### 「新図書館・春木川公園」について

**問** 新図書館について、デジタルデータを収集・保存するところまでは図書館の業務であるが、それを産業や商業に有効活用するためには、関係部門が積極的に関与することが重要。図書館資料を活用した研究や調査を支援するレファレンス、商品の開発、新規ビジネスの創出など、その可能性は多岐にわたる。デジタル化は当たり前で、使ってこそ価値あると思うが準備はあるか。

**答** 図書館を活用したビジネス例は少なくなく、図書館は有効なビジネス支援機関と成りえる施設と考えます。新しい価値を生み出す様々なヒントやサービスを提供することで、新規ビジネス等の創出につながる可能性を秘めた新しい創業支援スタイルとして、関係部門と連携し、調査・研究していきます。

**問** 春木川公園について、市民や地域住民の声を聞き取っていないということだが、まちづくり・土地の処分について必要なこと、中でも資格要件を整理した業者選定について公平公正な審査を望むがどう考えているか。

**答** 公募設置等指針に基づいて適正に審査を行ったものであります。市民が見たときに間違いではないということで今まで行ってきたつもりですが、まだ不足しているのであれば透明性を高めて公平公正

に進めてまいりたいと思います。

観光政策、移住政策については、政策を作るにあたり、業界団体の話を十分に聞いて施行してほしい。

日本共産党議員団

みま きょうこ  
美馬 恭子 議員



## 「産後ケア事業」について

**問** 産後ケア事業について、その内容と利用できる方、利用料について伺いたい。

**答** 産後の母親の困りに対応するために、産科医療機関・助産所等において、宿泊や日帰りで母親と乳児のケア、授乳指導・育児相談等を実施しています。利用できるのは、産後の心身の不調、育児に対する不安、ご家族から十分な支援が受けられないなどの困りごとのある別府市に住民登録のある1歳未満の乳児とお母さんです。利用料は宿泊型が3千円、デイサービス型が1千5百円です。

**問** 産後ケア事業のガイドラインには「母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、母親自身のセルフケア能力を育み、母子の愛着形成を促し、母子とその家族が健やかな育児ができるように支援することを目的とする」とある。周知に関してはより幅広い年代に男女問わずにすることが必要だと思うがどうか。

**答** この事業は、父親や祖父母など母親の周りの方にも周知していくことが大切だと思います。広報を母親に向けただけでなく、家族を含め幅広く取り組む必要があると考えます。

産後ケア事業を進めていくためには、専門職の増員も必要。そして、事業を支えている産科医療機関、助産所に対してのきめ細かなフォローも必要と考える。

自民党議員団

あべ しんいち  
阿部 真一 議員



## 「手話通訳育成事業」について

**問** 手話が言語であると認知され平成26年に別府市聴覚障害者協会より条例の早期制定を求める意見書が出され、別府市の作業部会で検討を行い、令和2年第2回定例会で提案可決された経緯がある。現在市内の手話を言語として使われている方は何名か。また県下の手話通訳者の登録人数は。

**答** 令和3年度末での聴覚障がい者数は450名です。手話を使われる方の正確な人数は把握できておりませんが、障がい者等級の1・2級を該当の方と仮定しますと、122名です。手話通訳者は県下で137名の登録者であり、別府市は9名となっております。

**問** 聴覚障がい者の方々の社会生活・社会活動の垣根をなくすためにも、手話通訳者の担い手の拡充が必要である。本年度当初予算でも手話育成事業が予算化されているが、今後、手話通訳者育成をどのように進めていく考えか。

**答** 聴覚障がいのある方との交流活動促進等が期待される手話奉仕員養成講座を開催していますが、手話のさらなる理解促進として手話奉仕員養成講座を修了した方を対象に、令和3年度にステップアップ講座を実施しました。本年度は上級講座を開催し、さらなる継続学習の機会を創出していきます。また、将来的な手話への興味を持っていただけるよう、市立小中学校の児童、生徒を対象とした手話理解促進事業を本年度より実施していきます。

自民党議員団

ますだ みつぐ  
栲田 貢 議員



## 「浜脇秋葉線の進捗」について

**問** 用地買収等を進めているということだが、以前の一般質問の中でも、用地買収の対象となる地域の方々について大変心配しているという話をさせていただいたが、買収の対象となっている方々にお話を聞くと、「中途半端に土地が残っても困る」、「移転先を考えるにも、移転先の土地代が高く補償費でまかなえずに困っている」といった声を聞く。この道路整備事業の進捗を図るには、なにより用地買収などの対象となっている方々の協力が必要だと思う。市が代替地を取得し斡旋したりということころまでは難しいと思うが、

例えば代替地や引越先を探したり、調整を図るなどといった対応が出来ないか。

**答** 用地補償、建物補償等につきましては、不動産鑑定士による土地の鑑定、補償コンサルタントによる建物等の調査を行い、補償基準等に則って補償額を算定し、対象者の方々へ個別に説明をさせていただいているところです。代替地や引越先に関しましては、可能な範囲での調整や情報提供等を行っていきたくと考えています。

日本共産党議員団

ひらの 文活 議員



## 「非正規雇用問題と第6波」について

**問** 新型コロナウイルス感染第6波(今年1月以降)では「死亡者が多い」のが特徴。県下の死亡者数は、昨年未までの2年間の84人に対して、今年の半年間だけで79人(6月15日現在)にも達している。私は、死亡リスクの高い高齢者の感染経路を調べてみたが、半数近くが「施設での感染」となっていた。今後の感染の波に備えて、市としても、これ以上死亡者を出さないための分析と対策を急ぐべきではないか。

**答** 基本的対策とワクチン推進、検査体制の確立に取り組み、死亡者を出さない対策についても、県保健所と連携して対応します。

**問** 市役所が雇用している職員の男女別人数、男女別の一人当たりの年収額を教えてください。

**答** 職員数は男性855人、女性916人、一人当たりの年収額は、男性約409万円、女性は約309万円です。

**問** 女性は男性より年収が約100万円も低い。この賃金格差の要因は何か。

**答** 年収の約100万円の差は、女性の割合が正規職員は少なく(37%)、非正規職員(会計年度任用職員)は多い(70%)ことによるものですが単純に人件費の総合計を男女の人数で割った数値によるものです。実際の任用は、仕事の責任、雇用期間、勤務時間、勤務日数等により賃金形態が異なっており、同じ任用形態、同一の職責であれば、男女の賃金格差はありません。

公明党

あな い こう じ  
穴井 宏二 議員



## 「老老介護」について

**問** 高齢者世帯数の把握、また老老介護の実態については把握しているのか。

**答** 別府市の高齢夫婦世帯数は6,848世帯です。老老介護の実態は把握しておりませんが、ニーズ調査では介護者の半数以上が60代から80代という結果が出ています。

**問** 高齢夫婦でどちらかが介護を要する老老介護の状態になった場合、体力的にも大変な状況になる。そういう家族介護者への支援をする為、千葉市が家族介護者支援事業として、おむつ交換の仕方や介護方法の実技を無料でアドバイスする「訪問レッスン」をしていると聞いたが、介護者が自宅で介護を学べる体制を検討してはどうか。

**答** 千葉市の家族介護者支援事業は高齢者を在宅で介護している家族介護者が日頃介護している中で困難に感じていることについて、ホームヘルパーや介護福祉士等が、訪問やオンライン、電話にてわかりやすくアドバイスし、家族介護者の身体的、精神的負担の軽減に取り組んでいます。

介護を必要とする人は一人一人状況が異なり介護をしている方が、個々に応じた介護方法を学べることは、介護負担の軽減だけではなく、精神的負担の軽減につながることから、現状、効果を確認し、市の高齢者福祉事業を考える上で今後参考にしたいと思います。

## 請願・陳情

どなたでも市議会に請願・陳情することができます。請願とは、国や県・市に対し要望や意見を述べることをいいます。別府市議会に請願書を提出するには別府市議会議員の紹介が必要になります。

詳しくは別府市議会ホームページをご覧ください。か、議会事務局までお問合せください。

なお、令和4年第3回定例会の請願の受付期限は8月23日(火)17時までです。

# 永年勤続市政振興功労者表彰

第98回全国市議会議長会定期総会において、永年にわたり市政の振興に貢献された功績により特別表彰等を受賞された議員に対し、6月定例会最終日の議事終了後、表彰状の伝達式を執り行いました。



● 永年勤続15年  
加藤 信康 議員  
松川 章三 議員

● 永年勤続35年  
泉 武弘 議員

[後列左]加藤議員/[後列右]松川議員  
[前列左から]議長、市長、泉議員、副議長

## 湯けむりパレードに参加しました

令和4年5月1日、3年ぶりの開催となった第108回別府八湯温泉まつりの湯けむり総パレードに別府市議会が参加しました。



## 本会議を 中継しています



別府市議会では、市民の皆さまに議会をより身近に感じていただけるよう、ケーブルテレビとインターネット、スマートフォン、タブレット端末による本会議の生中継と録画中継による本会議の放送を行っています。

### 放送日時

本会議開催日(午前10時から)

### 放送内容

議案の提案理由説明、議案質疑、一般質問など

### 放送メディア

● ケーブルテレビでの中継  
CTBメディアとんぼチャンネルで生中継します。

● インターネットでの中継

別府市議会ホームページ

<https://www.city.beppu.oita.jp/gikai/>

[ta.jp/gikai/](https://www.city.beppu.oita.jp/gikai/)

にアクセスしてお入りください。  
(また、全日程終了後、概ね1週間後から約2年間録画中継を放映しています。)

※議事中継は公式記録ではありません。公式記録は本会議後に調製する会議録となります。



## 編集後記



早いもので議員任期もあと半年余りとなりました。これまで、コロナウイルスや戦争によって多くの人々が苦難に直面し、不安な日々を送ってきたかと思えます。この間、一議員としては日々の生活の不安や悩み、市政運営の課題や問題の解決に向けて積極的に取り組んでまいりました。

これからは、コロナ禍の新たな時代の国際観光都市として、別府市は前へ進んでいかななくてはなりません。その為には、これまでの固定概念を改め将来を見据えた新しい視点で人口減少や、少子高齢化への対策に取り組み、次世代へ向けて夢や希望、そして勇気が湧いてくる別府市にしていかななくてはいけないと決意を申し上げる次第です。今後も市民に寄り添うべき議会の一翼として、市の発展と市民福祉の充実のために誠心誠意取り組んでまいります。

最後になりましたが、皆様のご健勝ご多幸を心から祈念申し上げます。ご挨拶と致します。

別府市議会広報広聴委員会

委員 森 大輔